

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 疾病を早期に治療する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	901 第1次・第2次救急体制を整備する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】 かかりつけ医を持つ人が増えるよう啓発活動を積極的に推進するとともに、疾病を早期に治療し、重篤にならないうちに治癒・回復させる。	【背景】 救急医療体制としては、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力のもと、第一次救急、第二次救急、第三次救急と系統的な医療体制を整備してきた。近年、休日・夜間における小児救急医療に対する需要や専門医による診療需要が高まってきており、小児救急のさらなる充実が急務である。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 成果改善
		90101	夜間・休日等救急医療対策事業	適切な医療を効率的に提供していくために、市立病院がそれぞれの専門性を明確にするとともに、夜間小児急病センターの充実を図る。
		90102	衛生会館管理運営事業	

【今後の課題】
小児救急医療の充実(小児急病センターの設置)

【重要性】
急な病気など万が一の時の不安を解消するため、休日や夜間の受け入れ態勢や市民に対する情報提供の充実が必要である。特に、小児救急医療体制の遅れによる死亡事例などが報道されており、全国的にその充実の必要性がある。

【現状分析】
夜間小児急病センターの受診者は増加しているが、医師の確保が厳しい状況にある。また、新規患者よりも再来患者が上回っている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
受入率			100	100	100	100	100
(%)			100	100	100	100	100
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	1	疾病を早期に治療する								
【基本事務事業】	901	第1次・第2次救急体制を整備する	担当課:	4812000									
【事務事業】	90101	夜間・休日等救急医療対策事業	保健福祉課	会計区分	一般会計								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
休日、夜間等における診療のサービスを提供する。	利用者数(人)	夜間小児急病診療所＋待機病院＋在宅当直医＋夜間歯科診療所＋年末年始等応急歯科夫々の利用者数の合計	23000	26260	27030	27030	27030	計画額	216,033	213,016	215,959	276,948	276,821
			23039	26006	27930	32659	32738	(一般財源)	170,584	167,498	162,241	192,234	181,612
	()		0	0	0	0	0	予算額	216,033	213,016	221,496	276,586	279,659
			0	0	0	0	0	(一般財源)	170,584	167,498	156,653	181,377	175,381
【対象】 急病時に受診できる病(医)院を求めている市民	()		0	0	0	0	0	決算額	218,357	210,680	219,639	269,384	274,597
			0	0	0	0	0	職員数	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
								単位) 事業費：千円		職員数：人			
								【業務】	テレホンサービス業務 急病診療業務 歯科診療業務 在宅当直医制業務 急病・救急医療システム連絡協議会 小児急病診療業務				
								【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【定量分析】:課題・現状分析								【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
昭和44年9月から休日当直医制度を開始、昭和50年2月から電話案内を開始した。その後、昭和52年4月から夜間急病診療のため「休日夜間急病診療所」を開設し、さらに待機病院事業を開始した。また、昭和52年7月から休日土曜日夜間救急歯科診療、平成7年4月から年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制を実施し、市民の休日夜間等における医療不安解消に努め成果を挙げている。								休日夜間急病診療所については、医療環境の実情による事業内容の変遷の結果、現在松戸市夜間小児急病センターと名称を改め小児を対象に診療を行い、受信者が増加している。今後は、更なる利便性の向上のために医師会との協議等を重ね、医師の確保及び診療時間の拡大等によって、同センターの充実を図る。					

【計画事業】

【計画事業名】 小児急病センター設置事業(一部)

【節項コード】 202 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】 健康の維持・増進

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	夜間急病診療事業(夜間急病診療所)待機病院事業休日土曜日(昼間)在宅当直医制事業休日土曜日夜間救急歯科診療事業年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制テレホンサービス事業急病救急医療システム	夜間急病診療事業(夜間小児急病診療所)待機病院事業休日土曜日(昼間)在宅当直医制事業休日土曜日夜間救急歯科診療事業年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制テレホンサービス事業急病救急医療システム	夜間急病診療事業(夜間小児急病診療所)待機病院事業休日土曜日(昼間)在宅当直医制事業休日土曜日夜間救急歯科診療事業年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制テレホンサービス事業急病救急医療システム	夜間急病診療事業(夜間小児急病センター)待機病院事業休日土曜日(昼間)在宅当直医制事業休日土曜日夜間救急歯科診療事業年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制テレホンサービス事業急病救急医療システム	夜間急病診療事業(夜間小児急病センター)待機病院事業休日土曜日(昼間)在宅当直医制事業休日土曜日夜間救急歯科診療事業年末年始等(昼間)応急歯科在宅当直医制テレホンサービス事業急病救急医療システム
実績	夜間急病2,372人待機16,355人 在宅3,508人夜間歯科463人年末等歯科341人Ⅲ案内19,173件連絡協議会2回	夜間急病5,356人待機16,591人 在宅3,283人夜間歯科458人年末等歯科318人Ⅲ案内18,213件連絡協議会2回	夜間急病5,054人待機19,545人 在宅2,665人夜間歯科382人年末等歯科284人Ⅲ案内21,309件連絡協議会2回	夜間急病9,526人待機19,614人 在宅2,833人夜間歯科418人年末等歯科268人Ⅲ案内20,318件連絡協議会2回	夜間急病9,558人待機19,921人 在宅2,539人夜間歯科441人年末等歯科279人Ⅲ案内19,988件連絡協議会2回

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	1	疾病を早期に治療する
【基本事務事業】	901	第1次・第2次救急体制を整備する	担当課:	4812000	
【事務事業】	90102	衛生会館管理運営事業	保健福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分
				一般事業	202
					戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
衛生会館内で実施している急病診療事業等の円滑な実施を確保することを目的とする	施設管理に係るトラブルの未然防止(件)	トラブルの発生件数	0	0	0	0	0	計画額	18,835	18,694	18,835	18,425	17,552
			0	0	0	0	0	(一般財源)	18,286	18,115	18,286	17,969	17,168
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	18,835	18,694	23,125	30,552	16,287
			0	0	0	0	0	(一般財源)	18,286	18,115	22,669	26,537	15,905
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	18,533	18,293	21,008	26,296	15,099
			0	0	0	0	0	職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
							単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】								【業務】	施設維持管理業務	施設整備業務			
衛生会館を利用する市民													

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

保健福祉課が実施している休日・土曜夜間歯科診療所等を利用される市民のために環境衛生等を確保することにより利便性及び快適性を維持しました。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

保健福祉課が実施している休日・土曜夜間歯科診療所等を利用される市民のために環境衛生等を確保することにより利便性及び快適性を維持しました。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 疾病を早期に治療する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	902 かかりつけ医機能を充実する	【基本計画区分】	202【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 其他
かかりつけ医を持つ人が増えるよう啓発活動を積極的に推進するとともに、疾病を早期に治癒し、重篤にならないうちに治癒・回復させる。		90201	かかりつけ医推進事業	かかりつけ医を持つことにより、日頃の健康管理や疾病予防の助言を受け、健康を維持する。

【今後の課題】
診療所医師の高齢化市民の大病院志向

【重要性】
かかりつけ医は日常の医療の中心となるもので、患者の生活状況や家庭環境などを日頃から把握したうえで、病気の予防や健康的な生活習慣を行うための指導を行い、市民のセルフケアを支援する。また、日常の健康状態や病気の経過を理解したうえで、よりの確な治療や、急病時の対応についての指示や治療を行うなどのプライマリ・ケアを提供するため、その役割は重要である。

【現状分析】
かかりつけ医の推進を図るための一環として発行している医療機関マップは年一度の発行のため最新情報が提供できない。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
かかりつけ医保有率			34.1	34.1	34.1	34.1	34.1
(%)			34.1	34.1	0	0	0
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	1 疾病を早期に治療する
【基本事務事業】	902 かかりつけ医機能を充実する	担当課:	4812000
【事務事業】	90201 かかりつけ医推進事業	保健福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
かかりつけ医の推進を図ることにより、健康管理の相談や疾病を早期に治癒する。	かかりつけ医保有率(%)	松戸市地域保健医療計画調査に基づき算出	50.5	50.5	50.5	50.5	50.5	計画額	1,203	1,318	1,102	1,318	1,364
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,203	1,318	1,102	1,318	1,364
	()		0	0	0	0	0	予算額	1,203	1,318	1,318	1,318	1,215
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,203	1,318	1,318	1,318	1,215
			0	0	0	0	0	決算額	1,285	1,183	1,296	1,089	1,119
								職員数	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	医療マップ等作成業務				
市民			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

医療機関マップの作成については、千葉県松戸保健福祉センターに前年度末現在届出がなされている松戸市内医療機関(病院・診療所・歯科診療所)及び保険薬局を基本に掲載している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

現行の処理方法では、該当医療機関等が多数であるため、診療内容等の正誤確認、新規開業診療所等の確認などの調査に多大な時間を費やすことから、発行時期が遅くなる傾向にある。最新情報を速やかに提供するために、提供情報処理に関する基本概念の改善など検討する。

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 医療提供体制を充実する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	903 地域医療体制を整備する	【基本計画区分】	202【担当課】 4811200 健康福祉本部企画管理室

【目的】	市病院事業を中心とした地域医療連携体制の構築により、疾病の治癒・回復を高める。	【背景】	松戸市の医療提供のあり方は、松戸市域のみならず広域の特性に応じたものでなければいけない。松戸市は、野田市、柏市、流山市、我孫子市によって構成される「東葛北部2次保健医療圏」に属しているが、本来、地域医療の提供体制は、この2次医療圏を単位として整備すべきものとされている。松戸市の医療体制とこの圏域における医療体制が相互に補充し合い、ともに協力して地域医療の向上を図っていく必要がある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 その他
		【今後の課題】	医療連携システムの構築松戸市病院事業のあり方	90301	地域医療計画推進事業	○EMIネットについては、ライセンス等の契約方法の見直しにより、コストを削減する。また、国の社会保障カード(仮称)の動向を見て、検討する必要がある。○市立病院の整備に関しては、基本計画の策定を進めていく中で、議会の市立病院建設検討特別委員会と十分な協議をする。

【重要性】

すべての市民が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、また、急な病気など万が一の時の不安を解消するため、医療体制の整備の充実が必要である。

【現状分析】

○EMIネットについては、参加機関が38～44と、伸び悩んでいるため、国の社会保障カード(仮称)の動向を見て、検討する必要がある。
○市立病院の整備については、引き続き市立病院建設検討特別委員会との協議が必要である。

【指標】 上段:予算目標 下段:実績

	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健・医療・福祉サービスに安心やゆとりを感じている人の割合 (%)	0	19.7	0	0	20.7
	0	19.7	0	0	18.6
	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0

()

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治療・回復率を高める	【施策】	2	医療提供体制を充実する									
【基本事務事業】	903	地域医療体制を整備する	担当課:	4811200										
【事務事業】	90301	地域医療計画推進事業	健康福祉本部企画管理室・病	会計区分	一般会計									
				計画区分	計画事業									
				202	戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
安心・信頼できる医療を確保するため、効率的な医療提供体制の整備を図る。(新病院整備計画の作成)	電子医療ネットワークシステム参加医療機関数(機関)	参加医療機関数	46	46	47	48	49	計画額	19,102	16,170	71,841	12,983	12,983	
			46	46	38	38	44	(一般財源)	19,102	16,170	46,841	12,983	12,983	
								予算額	19,102	16,170	71,841	38,419	0	
	小児急病センターの設置(設置)	小児急病センターの設置	0	0	1	0	0	(一般財源)	19,102	16,170	46,841	38,419	0	
			0	0	1	0	0	決算額	0	0	67,042	22,895	22,890	
								職員数	1.7	1.7	2.2	3.7	3.9	
								単位) 事業費:千円						
								職員数:人						
【対象】	新病院整備の進捗計画(計画)	新病院整備の基本構想・基本計画の策定(計画)	0	0	0	50	50	【業務】	地域医療体制運営管理業務(仮称)小児急病センター設置準備業 電子医療情報ネットワークシステム管理 病院施設整備調査業務					
保健医療サービスの提供を必要とする人			0	0	0	10	20							
			【指標値】上段:予算目標 下段:実績											
	【定量分析】:課題・現状分析					【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性								
	○平成18年4月、松戸市地域保健医療計画推進協議会からの「新病院整備基本構想」の答申(必要病床数400~500床想定)を受けました。○答申を尊重した市の基本構想(案)を策定しました。○基本計画(案)は策定中です。					○EMIネットについては、国の社会保障カード(仮称)の動向を見て検討をする必要がある。○病院の整備については、引き続き市立病院建設検討特別委員会との協議が必要である。								

【計画事業】

【計画事業名】026小児急病センター設置事業(一部)、027市立病院整備計画策定事業(一部)

【節項コード】 202 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】健康の維持・増進

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	○病院施設整備調査○小児急病センター設置に向けた準備	○病院施設整備調査○小児急病センター設置に向けた準備	○新病院建設に向けて(1)基本構想策定部会の設置(2)新病院建設候補地の検討(3)基本構想の策定 ○小児急病センターの建設(H18年度開設予定)	○新病院建設に向けて(1)基本構想の意思決定(2)基本計画の策定 ○小児急病センター開設	○新病院建設に向けて 基本設計の策定
実績	○病院施設整備調査○小児急病センター設置に向けた準備	○病院施設整備調査○小児急病センター設置に向けた準備	○新病院建設に向けて(1)地域保健医療計画推進協議会に「基本構想の策定について」諮問(2)新病院建設候補地の検討(3)基本構想の策定○小児急病センターの建設は、平成17年度完了	○新病院建設に向けて(1)基本構想(案)の策定(2)現地建替の可能性について調査(3)基本計画の第I期として、機能と病床規模の検証 ○平成18年4月小児急病センター開設	○新病院建設に向けて 基本計画を策定中

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 医療提供体制を充実する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	904 三師会との連携を強化する	【基本計画区分】	202【担当課】 4811000 健康福祉本部企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
市病院事業を中心とした地域医療連携体制の構築により、疾病の治癒・回復を高める。		90401	医師会交付金	松戸市立病院は、地域がん診療拠点病院として厚生労働省から承認をうけた。専門的医療体制を有し、院内がん登録システムを確立、地域の医療従事者に対する研修体制を有すること等も機能。市立病院を中心とした地域医療提供体制の充実を推進する。
		90402	歯科医師会交付金	
		90403	薬剤師会交付金	

【今後の課題】
協力体制の維持小児急病センターの運営

【重要性】
松戸市が公衆衛生関係事業、学校保健事業、救急医療関係事業等様々な事業を実施するうえで、三師会の協力が大変重要となっている。

【現状分析】
地域の医療提供体制の構築を推進するため、紹介とともに逆紹介が増えることがのぞましい。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
逆紹介率			0	0	0	0	69.6
(%)			20.7	22	27.2	19.9	25.2
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	2 医療提供体制を充実する
【基本事務事業】	904 三師会との連携を強化する	担当課:	4811000
【事務事業】	90401 医師会交付金	健康福祉本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
保健医療福祉事業の円滑な推進のため、松戸市医師会の事業参画(補完性・協力的・専門性)に対し、交付金を交付する。	参加件数(件)	市の事業に対する医師会活動の参加件数	35	35	35	35	35	計画額	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	
			39	40	37	37	37	(一般財源)	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	
	()			0	0	0	0	0	予算額	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
				0	0	0	0	0	(一般財源)	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
	()			0	0	0	0	0	決算額	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
				0	0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4
【対象】	松戸市医師会								【業務】					
									【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					

【定量分析】: 課題・現状分析
松戸市の実施するイベントや会議への出席といった形で医師会の協力を得ている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
医師会に交付金として拠出するやり方については、今後見直したい。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治療・回復率を高める	【施策】	2	医療提供体制を充実する								
【基本事務事業】	904	三師会との連携を強化する	担当課:	4811000									
【事務事業】	90402	歯科医師会交付金	健康福祉本部企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				202	戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健医療福祉事業の円滑な推進のため、松戸歯科医師会の事業参画(補完性・協力的・専門性)に対し、交付金を交付する。	参加件数(件)	市の事業に対する医師会活動の参加件数	20	20	20	20	20	計画額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			20	20	20	20	20	(一般財源)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	()		0	0	0	0	0	予算額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	()		0	0	0	0	0	決算額	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
0			0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	
【対象】								【業務】					
松戸歯科医師会								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
松戸市の実施するイベントや会議への出席といった形で歯科医師会の協力を得ている。								歯科医師会に交付金として拠出するやり方については、今後見直したい。					

【政策】	09	治療・回復率を高める	【施策】	2	医療提供体制を充実する								
【基本事務事業】	904	三師会との連携を強化する	担当課:	4811000									
【事務事業】	90403	薬剤師会交付金	健康福祉本部企画管理室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				202	戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健医療福祉事業の円滑な推進のため、松戸市薬剤師会の事業参画(補完性・協力的・専門性)に対し、交付金を交付する。	参加件数(件)	市の事業に対する薬剤師会の参加件数	10	10	10	10	10	計画額	500	500	500	500	500
			10	10	14	11	18	(一般財源)	500	500	500	500	500
	()		0	0	0	0	0	予算額	500	500	500	500	500
			0	0	0	0	0	(一般財源)	500	500	500	500	500
	()		0	0	0	0	0	決算額	500	500	500	500	500
0			0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	
【対象】								【業務】					
松戸市薬剤師会								【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
松戸市の実施するイベントや会議への出席といった形で薬剤師会の協力を得ていることがわかる。								薬剤師会に交付金として拠出するやり方については、今後見直したい。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 医療提供体制を充実する	【項】	健康の維持・増進
【基本事務事業】	905 高度・良質な医療を提供する(市立病院)	【基本計画区分】	202【担当課】 4811000 健康福祉本部企画管理室

【目的】	市病院事業を中心とした地域医療連携体制の構築により、疾病の治癒・回復を高める。	【背景】	市立病院は、松戸市のみならず東葛北部2次医療圏においても、その規模と高い医療水準から見て「地域の基幹病院」ということができる。また、市立病院は、松戸市が経営する病院であることから、単なる地域の基幹病院ではなく、公的な性格をあわせ持つ自治体病院である。将来的には、「地域医療支援病院」に期待される機能を持つ病院として、その位置づけを明確なものにすることが求められている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				90501	病院事業会計負担金・出資金	将来的には、「地域医療支援病院」に期待される機能を持つ病院として、その位置づけを明確なものにすることが求められている。(紹介率及び逆紹介率ともに上昇することが必要不可欠)
				90502	市立病院建設事業負担金・出資金	
				90503	献血推進事業	

【今後の課題】

- ・地域における役割の明確化 ・新しいニーズへの対応・人件費の抑制
- ・老朽化による建替えの検討・地域支援病院を目指す

【重要性】

松戸市内及び東葛北部2次医療圏において、市立病院の役割は非常に重要であり、今後も高度・良質な医療を提供する必要がある。

【現状分析】

地域連携医療体制の構築のために、紹介とともに逆紹介が増えることがのぞましい。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
紹介率			0	0	0	0	33.9
(%)			39.7	41.3	41.9	47.2	49.7
血液充足率			16	17	17	17	17
(%)			11.5	11	7.4	7.1	3.9

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	2 医療提供体制を充実する
【基本事務事業】	905 高度・良質な医療を提供する(市立病院)	担当課:	4811000
【事務事業】	90501 病院事業会計負担金・出資金	健康福祉本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 202 戦略区分 -

【目的】	地方公営企業繰出基準に基づき、負担金・出資金を支出することにより、医療の質の向上と経営の安定化を図る。	【指標】	経常収支(国保松戸市立病院)-3月補正における基準外繰出額(百万円)	【指標概要】		[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						393.7	32.2	32.2	32.2	32.2	計画額	2,324,003	2,288,377	2,259,810	2,149,058	2,111,203
						393.7	32.2	-585.4	-809.8	-1100	(一般財源)	2,324,003	2,288,377	2,259,810	2,149,058	2,111,203
											予算額	2,324,003	2,288,377	2,188,606	2,230,274	2,366,849
											(一般財源)	2,324,003	2,288,377	2,188,606	2,230,274	2,366,849
						0	0	0	0	0	決算額	2,405,539	2,353,709	2,239,556	2,776,359	3,316,849
						0	0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.25	0.25
											単位) 事業費: 千円					
											職員数: 人					
【対象】	市立松戸病院東松戸病院					0	0	0	0	0	【業務】	市立病院				
						0	0	0	0	0		市立東松戸病院				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

経常収支については、平成17年度に赤字に転落し、その後も赤字幅の拡大が年々続いていることから、病院事業経営は非常に厳しい局面を迎えていると言わざるを得ない。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

病院の経営については、診療報酬の改定などの悪化や、外来患者数及び入院患者数(病床利用率)の減少といった要因などにより、非常に厳しい局面を迎えていると言わざるを得ない。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	2	医療提供体制を充実する									
【基本事務事業】	905	高度・良質な医療を提供する(市立病院)	担当課:	4812000										
【事務事業】	90503	献血推進事業	保健福祉課											
			会計区分	一般会計	計画区分									
					一般事業									
					202									
					戦略区分									
					—									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
献血者の増加を図る	血液供給達成率(%)	血液量/予定血液量×100	64.8	65	70	70	75	計画額	510	373	407	407	330	
			64.8	56.6	56.3	57	37.4	(一般財源)	510	373	407	407	330	
									予算額	510	373	330	330	334
()	()	()	0	0	0	0	0	(一般財源)	510	373	330	330	334	
			0	0	0	0	0		決算額	505	249	286	280	263
									職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
							【業務】							
			0	0	0	0	0							
			0	0	0	0	0							
【対象】	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績													
献血していただける16歳から69歳までのすべての人	【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
	平成19年度に松戸市内に常設の献血ルームを開設。						治療に必要な血液を確保する。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 受療環境を整備する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	906 国民健康保険事業を適正に運営する	【基本計画区分】	203【担当課】 4823000 保険課

【目的】 受療環境を整備し、経済的な理由で受診できない人を減らし、治癒・回復を高める。	【背景】 国民健康保険は、原則として被用者保険の加入者以外の者を被保険者とし、病気やけがに備えて被保険者が保険料を出し合い、受診したときの医療費補助にあて、被保険者の医療費負担を軽減しようという相互扶助の制度である。昭和13年に国民健康保険法が制定され、その後、幾度かの改正を経て昭和36年に国民皆保険が実現した。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
	【今後の課題】 ・国民健康保険事業の経営改善・収納対策(口座振替、滞納整理の推進等)	90601	国民健康保険特別会計繰出金	・国民健康保険事業の経営改善・収納対策(口座振替、滞納整理の推進等)
		90602	国民健康保険管理事業	
		90603	連合会負担金	
		90604	保険料賦課徴収事業	
		90605	滞納処分費	
		90606	国民健康保険運営協議会運営事業	
		90607	一般診療分(療養給付費)	
		90608	退職者等診療分(療養給付費)	
		90609	一般診療分(療養費)	
		90610	退職者等診療分(療養費)	
		90611	審査支払手数料	
【重要性】 景気の低迷によるリストラ、高齢化に伴う医療費の増、平均所得の低下等により、保険料収入が伸びず、また保険料の収納率が低下傾向にある。これに対し、これまでは保険料の引き上げと一般会計の繰入で対応してきたが、もはや限界であることから、国民健康保険事業の経営改善も含め、適正に運営する必要がある。	【現状分析】 現年度保険料については、MPN、コンビニや特別徴収(年金天引)による収納等の納付機会の拡大が図られたところではあるが、滞納者に波及する画期的な収納率向上は難しい。また、過年度保険料収納担当室(滞納整理担当)の設置により、延滞金の徹底徴収、滞納処分の強化を図っているところだが、現年度保険料の低収納率に対する交付金ペナルティの解除には貢献しない。	【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
		保険料収納率		86.71 89 89 89 89
		(%)		86.64 85.46 85.89 84.92 84.96
				0 0 0 0 0
				0 0 0 0 0

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	3 受療環境を整備する
【基本事務事業】	906 国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4811000
【事務事業】	90601 国民健康保険特別会計繰出金	健康福祉本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -
【目的】 高齢化の進展や景気低迷等に伴う医療費の増加に対応するために、一般会計からの財源を繰出すことにより、国民健康保険の適正かつ円滑な運営を図る。	【指標】 国民健康保険料収納率(%)	【指標概要】 一般被保険者と退職被保険者等を含めた合計の収納率	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19] 【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
	()		89 89 89 89 89 計画額 1,537,482 1,625,279 3,212,363 3,212,361 3,397,593
			81.02 79.62 86.22 87.17 87.3 (一般財源) 953,564 992,560 2,552,663 2,513,348 2,675,766
			0 0 0 0 0 予算額 1,537,482 1,625,279 1,662,361 1,691,371 1,821,990
			0 0 0 0 0 (一般財源) 953,564 992,560 1,002,664 969,544 1,081,846
			0 0 0 0 0 決算額 3,177,260 3,248,462 3,264,927 3,347,555 3,458,396
			0 0 0 0 0 職員数 0.2 0.2 0.2 0.1 0.1
			(単位) 事業費:千円 職員数:人
【対象】 国民健康保険加入者			【業務】
			0 0 0 0 0
			【指標値】上段:予算目標 下段:実績
	【定量分析】:課題・現状分析		【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性
	国民健康保険料の収納率(現年度分)については、収納率の低下には一定の歯止めがかかったものの、国庫補助額の増を見込めるだけのものが得られていないため、引き続き改善への取り組みが必要である。		現在は当初予算以外に3月補正で多くの額を補正し、国民健康保険事業を実施しているのが現状である。安定した国民健康保険事業を展開するため、収納額を向上させるあらゆる取り組みが必要である。また、平成20年度からスタートする特定健診制度についても、病気予防の観点から積極的な取り組みが求められる。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90602	国民健康保険管理事業	保険課										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
医療保険事業の適正な運営を図り、受療環境を整備する	実質収支(一般会計繰入率)(%)	一般会計繰入額/事業費※(事業費=歳入決算)	4.096	3.937	3.8	3.8	3.8	計画額	428,661	61,214	62,723	62,139	61,532
			3.868	3.788	3.585	3.388	3.096	(一般財源)	0	0	0	0	0
	不適正資格率(%)	手続き未済者/本市国民健康保険被保険者※(適用適正化調査;不適正人数/調査人数)	10	10	10	9	8	予算額	428,661	61,214	69,090	71,315	0
			8.67	9.5	9.767	10.313	6.047	(一般財源)	0	0	280	0	0
【対象】 国民健康保険被保険者	医療費伸び率(前年比)()	今年度医療費/前年度医療費※(医療費=保険給付費決算)	1.213	1.119	1.048	1.019	1.025	決算額	432,035	61,580	68,701	73,653	0
			1.195	1.08	1.123	1.057	1.09	職員数	11.17	11.17	11.17	11.17	11.29
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績								【業務】 資格給付関係電算委託料等 保険給付用諸用紙印刷費 管理業務					
【定量分析】: 課題・現状分析 来庁される被保険者などにの要望に、適正かつスムーズに対応できる様に、今後もシステム環境などを整備していく。								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 今後も、国の制度や国保制度の変化に対応しながら、柔軟に対応していきたい。					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90603	連合会負担金	保険課										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
各被保険者が賄う負担金にて、保険医療機関からの診療報酬請求内容の審査を行ない、医療費の適正化を図る	負担金伸び率(前年比)()	今年度負担金/前年度負担金※(負担金=負担金決算)	1	1.14	0.902	0.991	0.99	計画額	6,608	6,697	6,038	5,982	5,923
			1.015	0.999	1.014	1	0.998	(一般財源)	0	0	0	0	0
	過誤依頼枚数(枚)	過誤依頼枚数※(再審査請求件数)	8000	8000	8000	8000	8000	予算額	6,608	6,697	6,650	6,643	6,657
			4308	4344	3985	4002	4873	(一般財源)	0	0	0	0	0
【対象】 千葉県国民健康保険団体連合会	()		0	0	0	0	0	決算額	6,564	6,558	6,584	6,585	6,571
			0	0	0	0	0	職員数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.85
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績								【業務】 国保団体連合会負担金 国保団体連合会東葛飾支部負担金 全国都市国保研究協議会等負担金					
【定量分析】: 課題・現状分析 千葉県国民健康保険団体連合会により、適正なレセプトの審査が行われたと思われる。								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 被保者数等により算定されるため、現状維持としたい。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90604	保険料賦課徴収事業	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
安定的かつ健全な国民健康保険事業運営のための財源を確保する	応能応益割合適正度()	応能割合(所得割)50:応益割合(均等割・平等割)50※(実績割合/50)	1.33	1.33	1.3	1.2	1.1	計画額	133,691	153,048	128,266	127,074	125,834
			1.336	1.33	1.3	1.3	1.3	(一般財源)	0	0	0	0	0
			86.64	89	89	89	89	予算額	133,691	153,048	141,287	146,325	155,429
国民健康保険被保険者	取納率(%)	取納額/調定額※(現年度保険料取納率:取納実績...5/31ㄮ)	86.64	85.46	85.89	84.92	87.3	(一般財源)	0	0	0	0	0
			86.64	85.46	85.89	84.92	87.3	決算額	122,608	143,912	126,434	126,628	167,996
			38	38	40	41	42	職員数	14.63	14.63	14.63	14.63	14.44
国民健康保険被保険者	口座振替加入率(%)	口座振替件数/賦課件数※(口座振替件数=口座世帯数決算、賦課件数=賦課世帯数決算...5/31ㄮ)	39.02	38.161	37.36	37.571	37.713	【業務】	保険料収納員報酬 賦課徴収事務員賃金 賦課徴収電算委託料 賦課徴収関係業務				
			39.02	38.161	37.36	37.571	37.713	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
			【定量分析】: 課題・現状分析 臨戸徴収を実施したり、滞納整理を円滑に行うための環境整備を整えた。								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 今後も滞納整理業務を円滑に行い、また臨戸徴収から口座振替等へ推進を図り、安定的かつ健全な国民健康保険事業運営のための財源の確保を目指す。		

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90605	滞納処分費	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
安定的かつ健全な国民健康保険事業運営のための財源確保を行なう	滞納率(%)	未納者数/納付義務者数※(100%-現年度保険料取納率)	13.29	11	11	11	11	計画額	3	3	2	2	3
			13.29	14.54	14.11	15.08	15.04	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0.22	0.22	0.3	0.35	0.4	予算額	3	3	3	3	0
国民健康保険料滞納者	滞納処分率(%)	滞納処分件数/滞納者数※(滞納処分件数=差押・交付要求件数、滞納者数=決算滞納世帯数)	0.048	0.057	0	0.227	0.336	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0.048	0.057	0	0.227	0.336	決算額	0	0	0	0	0
			10	10	11	11	10	職員数	0.95	0.95	0.95	0.95	1.17
国民健康保険料滞納者	被保険者証交付制限率()	交付制限付き被保険者証交付件数/被保険者証交付件数※(交付制限付き被保険者証交付件数=当初短期証・資格証交付件数、被保険者証交付件数=当初被保険世帯数)	8.711	9.374	10.756	10.559	11.375	【業務】					
			8.711	9.374	10.756	10.559	11.375	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
			【定量分析】: 課題・現状分析 滞納処分を円滑に行うための必要な経費(郵便料など)。								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 完納者との負担の公平性を確保するため、滞納者に対する処分による保険料の徴収を行なっていくため、今後もさらに必要となっていく。		

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90606	国民健康保険運営協議会運営事業	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	安定的かつ健全な国民健康保険事業運営のための重要事項を審議し、適正な答申を受ける	【指標】	出席率(%)	出席委員数/委員数※(延べ開催総数)	出席回数(回)	傍聴者数(人)	【事業費】	計画額	一般事業	203	戦略区分 -		
【対象】	国民健康保険運営協議会委員												
			90	90	100	100	100	460	389	354	350	347	
			88.235	76.471	74.51	68.627	76.471	(一般財源) 0	0	0	0	0	
								予算額	460	389	389	648	519
								(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	234	216	310	276	304
								職員数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.99
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
								【業務】	国民健康保険運営協議会委員報酬				
									国民健康保険運営協議会運営業務				
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								年に3~4回開催し、被保険者や医療関係者等から選出された委員と審議を行い、国保の適正な運営を図る。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								今後も引き続き審議を行い、市の国保運営の改善や適正な運営をすすめていく。					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90607	一般診療分(療養給付費)	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	医療費にかかる経済的負担を軽減し、受療環境を整備することにより、市民の健康維持、増進を図る	【指標】	医療費伸び率(前年比) (%)	今年度医療費/前年度医療費※(医療費=一般療養給付費決算)	()	【事業費】	計画額	一般事業	203	戦略区分 -			
【対象】	国民健康保険被保険者(一般)												
			1.228	1.11	1.073	1	1	12,505,203	13,880,194	14,891,309	14,884,530	14,877,475	
			1.221	1.069	1.079	1.041	1.06	(一般財源) 6,450,125	7,294,273	7,774,482	7,774,482	7,774,482	
								予算額	12,505,203	13,880,194	14,965,375	15,543,241	15,726,896
								(一般財源)	6,450,125	7,294,273	7,774,443	8,054,003	8,024,625
								決算額	12,635,695	13,505,674	14,343,080	14,937,071	15,837,799
								職員数	0.34	0.34	0.34	0.34	0.55
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
								【業務】					
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								一般被保険者の疾病及び負傷に対して、診療その他の療養の給付を行なうことで、医療費の負担軽減を図り、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持、増進を行ってきた。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								市民の健康増進かつ医療費軽減に向け、必要な経費である。今後は、国保制度の推移を見極めたり、市民の健康維持・増進の啓発事業と関連してすすめていく必要がある。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90610	退職者等診療分(療養費)	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
全額自己負担した医療費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減する	医療費伸び率(前年比)()	今年度医療費/前年度医療費※(医療費=退職療養費決算)	1.024	1.044	1.377	1.38	1.377	計画額	93,870	97,962	134,884	186,156	257,531	
			1.112	1.165	1.231	1.243	1.168	(一般財源)	37,228	34,268	50,292	73,809	108,323	
	()		0	0	0	0	0	予算額	93,870	97,962	134,884	144,912	194,709	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	37,228	34,268	50,292	52,001	69,250	
	()		0	0	0	0	0	決算額	86,767	101,085	124,908	155,323	181,446	
0			0	0	0	0	職員数	0.78	0.78	0.78	0.78	1.03		
【対象】	国民健康保険被保険者(退職者医療対象者等)		【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【定量分析】: 課題・現状分析 退職被保険者に療養の給付を行なうことが困難な場合等に、療養の給付に代えて療養費を支給し、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持・増進を行ってきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 市民の健康増進かつ医療費軽減に向け、必要な経費である。今後は、国保制度の推移を見極めたり、市民の健康維持・増進の啓発事業と関連してすすめていく必要がある。									

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90611	審査支払手数料	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
各被保険者が賄う手数料にて、保険医療機関からの診療報酬請求内容の審査を行ない、医療費の適正化を図る	手数料伸び率(%)	(今年度手数料-前年度手数料)/前年度手数料※(手数料=手数料決算)	1.032	0.95	1.06	1.06	1.06	計画額	95,365	90,570	95,978	101,709	107,782	
			4.988	0.748	5.215	0.734	0	(一般財源)	95,365	90,570	95,978	101,709	107,782	
	過誤依頼枚数(枚)	過誤依頼枚数※(再審査請求件数)	8000	8000	8000	8000	8000	予算額	95,365	90,570	95,978	100,931	100,664	
			4308	4344	3985	4002	4873	(一般財源)	95,365	90,570	95,978	100,931	100,664	
	()		0	0	0	0	0	決算額	92,340	93,031	96,953	97,664	99,055	
0			0	0	0	0	職員数	0.9	0.9	0.9	0.9	1		
【対象】	千葉県国民健康保険団体連合会		【指標値】 上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【定量分析】: 課題・現状分析 療養の給付、療養費等にかかる診療報酬明細書(レセプト)の審査の手数料を賄い、適正な受療環境の整備を図ってきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 今後も、審査機関と協力し、適正な運営に努めていく。									

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する										
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000											
【事務事業】	90612	一般診療分(高額療養費)	保険課												
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
自己負担限度額以上を支払った医療費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減する	医療費伸び率(前年比)()	今年度医療費/前年度医療費※(医療費=一般高額療養費決算)	1.081	1.16	0.973	1	1	計画額	1,343,520	1,558,359	1,516,396	1,516,396	1,516,396		
			1.119	1.026	1.005	1.015	1.184	(一般財源)	609,265	668,127	658,295	658,295	658,295		
								予算額	1,343,520	1,558,359	1,516,396	1,542,075	1,692,858		
								(一般財源)	609,265	668,127	658,295	691,514	652,594		
								決算額	1,338,949	1,373,748	1,328,710	1,348,180	1,595,963		
							職員数	1.4	1.4	1.4	1.4	0.33			
							単位) 事業費:千円 職員数:人								
【対象】								【業務】							
国民健康保険被保険者(一般)															
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績					
								【定量分析】: 課題・現状分析	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
								自己負担限度額以上を支払った医療費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減し、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持・増進を行ってきた。				市民の健康増進かつ医療費軽減に向け、必要な経費である。今後は、国保制度の推移を見極めたり、市民の健康維持・増進の啓発事業と関連してすすめていく必要がある。			

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する										
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000											
【事務事業】	90613	退職者等診療分(高額療養費)	保険課												
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
自己負担限度額以上を支払った医療費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減する	医療費伸び率(前年比)()	今年度医療費/前年度医療費※(医療費=退職高額療養費決算)	1.319	1.422	1.37	1.373	1.376	計画額	334,518	475,845	651,689	894,598	1,230,980		
			1.726	1.148	1.139	1.013	1.247	(一般財源)	133,125	166,455	242,982	354,692	517,760		
								予算額	334,518	475,845	651,689	683,673	779,779		
								(一般財源)	133,125	166,455	242,982	245,330	277,336		
								決算額	446,646	512,674	558,063	565,378	704,902		
							職員数	0.7	0.7	0.7	0.7	0.33			
							単位) 事業費:千円 職員数:人								
【対象】								【業務】							
国民健康保険被保険者(退職者医療対象者等)															
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績					
								【定量分析】: 課題・現状分析	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
								退職者医療等被保険者の一定額を超える高額医療費の自己負担に対し、高額療養費を支給することで、医療費の負担軽減を図り、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持・増進を行ってきた。				市民の健康増進かつ医療費軽減に向け、必要な経費である。今後は、国保制度の推移を見極めたり、市民の健康維持・増進の啓発事業と関連してすすめていく必要がある。			

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90614	一般診療分(移送費)	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
診療上必要なため支払った移送費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減する	移送費伸び率(前年比)(%)	{今年度移送費/前年度移送費※(医療費=一般移送費決算)}	1	1	1	1	1	計画額	100	100	100	100	100	
			100	0	0	0	0	0	(一般財源)	61	61	61	61	61
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	0	0	0	17		
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	0	0	0	17		
								職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.11	
								単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】	国民健康保険被保険者(一般)		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】						
								【定量分析】: 課題・現状分析						
			一般被保険者の疾病・負傷のための入院治療または転医にかかり、その病院・診療所まで歩行することができない、または歩行することが著しく困難な場合、当該被保険者の輸送にかかる移送費を支給することで、負担軽減を図り、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持、増進を行ってきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 実績は少ないが、今後も必要な事業である。						

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90615	退職者等診療分(移送費)	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
診療上必要なため支払った移送費に対する保険負担分を償還し、医療費にかかる経済的負担を軽減する	移送費伸び率(前年比)(%)	{(今年度移送費-前年度移送費)/前年度移送費※(医療費=退職移送費決算)}	1	1	1	1	1	計画額	100	100	100	100	100	
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	30	30	30	30	30
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0		
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	0	0	0	0		
								職員数	0.02	0.02	0.02	0.02	0.11	
								単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】	国民健康保険被保険者(退職者医療対象者等)		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】						
								【定量分析】: 課題・現状分析						
			退職被保険者の疾病・負傷のための入院治療または転医にかかり、その病院・診療所まで歩行することができない、または歩行することが著しく困難な場合、当該被保険者の輸送にかかる移送費を支給することで、負担軽減を図り、医療を受けやすい環境を整備し、市民の健康維持、増進を行ってきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 実績は少ないが、今後も必要な事業である。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90616	出産育児一時金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
出産費にかかる経済的負担を軽減し、出産環境を整備する	申請率(%)	申請件数/国保資格取得者出産件数	100	100	100	100	100	計画額	291,000	285,000	253,411	251,892	250,311
			105.44	99.612	101.35	111.83	112.427	(一般財源)	97,000	95,000	90,000	90,000	90,000
									予算額	291,000	285,000	270,000	255,000
不当申請件数(件)	国保資格喪失者による誤申請件数同一世帯の重複申請件数※(出産育児一時金返還件数)		3	2	0	0	0	(一般財源)	97,000	95,000	90,000	85,000	86,334
			1	1	1	1	1	決算額	273,300	231,300	225,000	256,000	268,950
									職員数	0.8	0.8	0.8	0.8
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】 国民健康保険被保険者	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			【指標値】上段：予算目標 下段：実績										
【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性								
国民健康保健被保険者の出産に対して支給を行なうことで、負担軽減を図り、医療を受けやすい環境を整備した。					今後は、国保制度の推移を見極め、適正な運営に努めていく。								

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90617	葬祭費	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
埋葬費にかかる経済的負担の軽減を図る	申請率(%)	申請件数/国保資格取得者死亡件数※(申請件数=決算、死亡件数=年報A表)	100	100	100	100	100	計画額	208,000	200,000	200,000	200,000	200,000
			91.781	89.444	92.279	93.152	0	(一般財源)	208,000	200,000	200,000	200,000	200,000
									予算額	208,000	200,000	200,000	260,000
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	208,000	200,000	200,000	260,000	135,000
			0	0	0	0	0	決算額	186,500	191,500	198,400	163,950	108,600
								職員数	0.46	0.46	0.46	0.46	0.57
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】 死亡した国民健康保険被保険者の葬儀を執り行なった者	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			【指標値】上段：予算目標 下段：実績										
【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性								
国民健康保健被保険者の死亡にあたり、葬儀を執り行なった者に対し支給することで、国保事業の適正な運営を図ってきた。					今後は、国保制度の推移を見極め、適正な運営に努めていく。								

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90618	乳幼児給付付加金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 0 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	()		0	0	0	0	0	計画額	1	1	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	1	1	0	0	0
								(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
								【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
								【定量分析】：課題・現状分析					
								【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90619	老人保健医療費拠出金	保険課											
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
各保険者が賄う拠出金(医療費分)にて、老人保健事業の適正な運営を図り、受療環境を整備する	拠出金伸び率(前年比)()	今年度拠出金/前年度拠出金※(拠出金=老人保険医療費拠出金決算)	0.999	0.815	0.857	1.01	1.01	計画額	9,965,892	8,328,082	7,962,511	8,042,137	8,122,557	
			0.987	0.856	0.942	0.939	0.905	(一般財源)	5,238,420	4,268,776	4,062,934	4,103,563	4,144,599	
	()			0	0	0	0	0	予算額	9,965,892	8,328,082	7,962,511	7,482,612	7,437,913
				0	0	0	0	0	(一般財源)	5,238,420	4,268,776	4,062,934	3,787,561	3,779,543
【対象】	()							決算額	9,888,033	8,462,128	7,967,754	7,482,599	7,214,357	
								職員数	0.18	0.18	0.18	0.18	0.29	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
			0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0							
								【指標値】上段：予算目標 下段：実績						
								【定量分析】：課題・現状分析						
								国民健康保険と被用者保険との間の老人医療費負担の公平性を確保するために適正に行ってきた。						
								【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
								総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90620	老人保健事務費拠出金	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
各保険者が賄う拠出金(事務費分)にて、老人保健事業の適正な運営を図り、受療環境を整備する	拠出金伸び率(前年比)()	今年度拠出金/前年度拠出金※(拠出金=老人保険医療費拠出金決算)	1.018	0.963	1.007	1.007	1.007	計画額	93,176	89,705	90,352	91,004	91,660
			1.017	0.961	0.001	1.007	0.977	(一般財源)	93,176	89,705	90,352	91,004	91,660
								予算額	93,176	89,705	90,352	90,978	88,926
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	93,176	89,705	90,352	90,978	88,926
			0	0	0	0	0	決算額	93,414	89,759	90,376	91,002	88,939
								職員数	0.09	0.09	0.09	0.09	0.23
()	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
								【定量分析】: 課題・現状分析					
【対象】	老人保健受給資格取得者		国民健康保険と被用者保険との間の老人医療費負担の公平性を確保するために適正に行ってきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90621	介護納付金	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
各保険者が賄う納付金(介護保険第2号被保険者納付保険料)にて、介護保険事業の適正な運営を図り、受給環境を整備する	納付金伸び率(前年比)()	今年度納付金/前年度納付金※(納付金=介護納付金決算)	1.208	1.175	1.12	1.116	1.117	計画額	2,039,330	2,396,718	2,684,308	2,997,507	3,348,344
			1.17	1.205	1.127	1.015	0.952	(一般財源)	1,056,147	1,248,580	1,396,255	1,563,805	1,751,462
								予算額	2,039,330	2,396,718	2,691,310	2,727,541	2,603,775
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	1,056,147	1,248,580	1,396,255	1,407,616	1,301,947
			0	0	0	0	0	決算額	1,974,359	2,378,351	2,680,744	2,720,125	2,590,467
								職員数	0.27	0.27	0.27	0.27	0.38
()	()		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
								【定量分析】: 課題・現状分析					
【対象】	介護保険第1号被保険者		介護保険事業の運営にあたり、各保険者ごと介護第2号被保険者数に応じた納付金を支払基金に納付し、適正な運営に努めてきた。					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90622	高額医療費拠出金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
国民健康保険における高額医療費負担に対する各保険者の財政基盤の安定化を補償する	拠出金伸び率(前年比)()	今年度拠出金/前年度拠出金※(拠出金=高額医療費拠出金決算)	2.442	1.331	1.172	1.172	1.172	計画額	499,691	664,973	779,173	912,985	1,069,778
			3.654	1.049	1.239	3.271	0.314	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	499,691	664,973	779,173	804,106	760,923
(0)			0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	決算額	599,593	628,704	702,239	691,570	721,065
			0	0	0	0	0	職員数	0.27	0.27	0.27	0.27	0.38
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】	千葉県国民健康保険団体連合会							【業務】					
			0	0	0	0	0	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
			0	0	0	0	0	【定量分析】: 課題・現状分析	国民健康保険における高額医療費負担に対する各保険者の財政基盤の安定化を補償するため、拠出金を支払い、適正な運営に努めてきた。				
			0	0	0	0	0	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性	総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。				

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90623	退職者医療制度共同事業拠出金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
退職者医療対象者の把握を行ない、資格の適正化を図る	不適正資格率(%)	手続き未済者/本市国民健康保険被保険者※(手続き未済者=退職者医療職権切替世帯数、本市国民健康保険被保険者=当初被保険世帯数)	10	10	10	9	9	計画額	24	24	24	24	24
			1.483	3.095	0.592	1.14	1.858	(一般財源)	24	24	24	24	24
			0	0	0	0	0	予算額	24	24	24	24	24
(0)			0	0	0	0	0	(一般財源)	24	24	24	24	
			0	0	0	0	0	決算額	14	15	10	12	17
			0	0	0	0	0	職員数	0.27	0.27	0.27	0.27	0.38
			0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】	千葉県国民健康保険団体連合会							【業務】					
			0	0	0	0	0	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
			0	0	0	0	0	【定量分析】: 課題・現状分析	退職者医療対象者資格の適正化にあたり、連合会に対し、基礎資料となる年金受給者一覧表作成費用のための拠出金を賄い、適正な運営に努めてきた。				
			0	0	0	0	0	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性	総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。				

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90624	保健衛生普及事業	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民の疾病予防、健康維持、増進にかかる経済的負担を軽減し、受療環境を整備する	施術補助費伸び率(前年比)(%)	今年度施術補助費/前年度施術補助費※(補助費=給付金決算)	1.004	1.003	1.114	1.114	1.114	計画額	41,827	41,967	46,736	52,047	57,961
			1.055	1.109	1.054	1.066	1080	(一般財源)	39,127	41,967	46,736	52,047	57,961
	100	100	100	100	100	100	予算額	41,827	41,967	46,736	52,484	56,048	
利用券交付率(%)	交付件数/対象被保険者数		3.672	3.865	3.99	4.242	4.173	(一般財源)	39,127	41,967	46,736	52,084	56,048
			100	100	100	100	100	100	決算額	39,388	42,886	43,970	46,346
不当利用率(%)	重複交付件数/交付件数		5	5	0	0	0	職員数	0.6	0.6	0.6	0.6	0.73
			0.776	0.726	0.275	0.275	1.043	0	0	0	0	0	0
【対象】	国民健康保険被保険者(45歳以上、ただし一定の障害認定者は、年齢制限なし等)		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 はりきゆうあん摩等施術費市給付業務 医療費通知業務 被保険者普及啓発業務					
【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
被保険者の健康管理、疾病予防及び医療費抑制の推進を図るため、はり・灸・マッサージ利用券を交付や医療費通知を行うなど、適正な運営に努めてきた。							医療保険制度の見直しに対応し、国民健康保険の適正な運営を行っていく。						

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90625	国民健康保険事業財政調整基金積立金	保険課		会計区分 国民健康 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
医療保険事業の安定的かつ健全な財政運営に資するため、基金の積み立てを行なう	基金繰入金額(自己資金分)(円)	基金繰入金額(自己資金分)※(基金繰入金決算)	500000	150000	150000	150000	150000	計画額	1	1	1	1	1
			500000	150000	150000	150000	150000	0	0	0	0	0	0
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000
			0	0	0	0	0	0	0	0.8	0.8	0.8	0.8
【対象】	国民健康保険事業財政調整基金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績							【業務】						
【定量分析】: 課題・現状分析							【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
医療保険事業の安定的かつ健全な財政運営に資するため、基金の積み立てを行い、適正な運営に努めてきた。							総合的な医療保険制度の運営、見直しを見極め、適正な運営に努めていく。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90626	一般被保険者保険過誤納還付金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を行ない、徴収の適正化を図る	不適正資格率(%)	手続き未済者／本市国民健康保険被保険者※(適用適正化調査;不適正人数/調査人数)	10	10	10	9	8	計画額	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
			8.67	9.5	9.767	10.313	6.047	(一般財源)	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
還付率(%)	還付処理件数/徴収件数※(還付処理件数=歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数=賦課世帯数-滞納世帯数決算…5/31)	還付処理件数/徴収件数※(還付処理件数=歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数=賦課世帯数-滞納世帯数決算…5/31)	15	15	15	12	10	予算額	36,000	36,000	36,000	33,400	33,400
			8.761	7.611	0	11.219	9.672	(一般財源)	36,000	36,000	36,000	33,400	33,400
()			0	0	0	0	0	決算額	26,109	21,988	25,058	31,497	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.45	0.45	0.45	0.45	0.16
【対象】	国民健康保健被保険者(一般)		【業務】										
			【指標値】		上段: 予算目標 下段: 実績								
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
一般被保険者の保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を実施し、徴収の適正化を図ってきた。						適正な資格かつ正確な額を算出するための啓発事業と関連してすすめていく必要がある。							

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000									
【事務事業】	90627	退職被保険者等保険料過誤納還付金	保険課										
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を行ない、徴収の適正化を図る	不適正資格率(%)	手続き未済者／本市国民健康保険被保険者※(適用適正化調査;不適正人数/調査人数)	10	10	10	9	8	計画額	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
			8.67	9.5	9.767	10.313	6.047	(一般財源)	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
還付率(%)	還付処理件数/徴収件数※(還付処理件数=歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数=賦課世帯数-滞納世帯数決算…5/31)	還付処理件数/徴収件数※(還付処理件数=歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数=賦課世帯数-滞納世帯数決算…5/31)	15	15	15	12	10	予算額	2,400	2,400	2,400	5,000	5,000
			8.761	7.611	0	1.048	0.971	(一般財源)	2,400	2,400	2,400	5,000	5,000
()			0	0	0	0	0	決算額	1,733	2,111	3,767	1,833	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.23	0.23	0.23	0.23	0.14
【対象】	国民健康保健被保険者(退職者医療等)		【業務】										
			【指標値】		上段: 予算目標 下段: 実績								
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
退職被保険者の保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を実施し、徴収の適正化を図ってきた。						適正な資格かつ正確な額を算出するための啓発事業と関連してすすめていく必要がある。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000	
【事務事業】	90628	一般被保険者保険税過誤納還付金	保険課		

【目的】	【指標】	【指標概要】	会計区分					計画区分					
			国民健康	一般事業	203	戦略区分	—	国民健康	一般事業	203	戦略区分	—	
保険税の過納及び誤納に対し、還付処理を行ない、徴収の適正化を図る	不適正資格率(%)	手続き未済者／本市国民健康保険被保険者※ (適用適正化調査; 不適正人数 / 調査人数)	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			1	1	0	0	0	計画額	100	100	100	100	100
			0	0	0	0	0	(一般財源)	100	100	100	100	100
			0	0	0	0	0	予算額	100	100	100	100	100
還付率(%)	還付処理件数 / 徴収件数※(還付処理件数＝ 税歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数＝ 税賦課世帯数－税滞納世帯数決算…5/31)	還付処理件数 / 徴収件数※(還付処理件数＝ 税歳入・歳出還付済及び未済決算、徴収件数＝ 税賦課世帯数－税滞納世帯数決算…5/31)	1	1	0	0	0	(一般財源)	100	100	100	100	100
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	国民健康保健被保険者(一般)		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
一般被保険者の保険税の過納及び誤納に対し、還付処理を実施してきた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
適正な資格かつ正確な額を算出するための啓発事業と関連してすすめていく必要がある。

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000	
【事務事業】	90629	償還金	保険課		

【目的】	【指標】	【指標概要】	会計区分					計画区分					
			国民健康	一般事業	203	戦略区分	—	国民健康	一般事業	203	戦略区分	—	
国庫支出金等の返還請求に対応する	償還金執行額(千円)	償還金執行額※(償還金決算)	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	1927.8	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1	1
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	126,363	87,091	171,928
			0	0	0	0	0	職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.14
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	国・県		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90630	一般被保険者還付加算金	保険課											
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を行ない、徴収の適正化を図る	還付加算金執行額(円)	還付加算金執行額※(一般還付加算金決算)	0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1	
			0	0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
(0)			0	0	0	0	職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16		
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】						
国民健康保健被保険者(一般)			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
			【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する									
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000										
【事務事業】	90631	退職被保険者等還付加算金	保険課											
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
保険料の過納及び誤納に対し、還付処理を行ない、徴収の適正化を図る	還付加算金執行額(円)	還付加算金執行額※(退職者還付加算金決算)	0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1	
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	
			0	0	0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0
(0)			0	0	0	0	0	職員数	0.16	0.16	0.16	0.16	0.14	
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】						
国民健康保健被保険者(退職者医療等)			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
			【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する
【基本事務事業】	906	国民健康保険事業を適正に運営する	担当課:	4823000	
【事務事業】	90632	予備費	保険課		
			会計区分	国民健康	計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
不測の経費執行に備え、予備費を計上する	予備費執行額(円)	予備費執行額※(予備費決算)	0	0	0	0	0	計画額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0	
								単位) 事業費：千円 職員数：人						
	【対象】 財政担当部署	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
				0	0	0	0	0						

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 受療環境を整備する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	907 老人保健事業を適正に運営する	【基本計画区分】	203【担当課】 4823100 保険課・広域保険担当室

【目的】 受療環境を整備し、経済的な理由で受診できない人を減らし、治癒・回復を高める。	【背景】 老人保健法は、昭和58年に、国民の自助と連帯の精神に立って、疾病予防や健康づくりを含む総合的な老人医療対策を推進するとともに、老人医療費を国民が皆で公平に負担することを目的として施行された。国民医療費は年々増えつづけ、なかでも近年の高齢化の進展に伴い、老人医療費は急激に増えている状況にある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業完了
		90701	老人保健事業特別会計繰出金	急激な高齢化に伴う老人医療費の増加に加え、脆弱な制度を再構築すべく医療保険制度の一元化なども議論されつつある。後期高齢者(75歳以上)を対象とした新医療保険制度も検討されている。今秋に厚生労働省が試案を示し、来年の通常国会に関連法案が提出される予定。国の動向に注意する。
		90702	医療給付費負担金	
		90703	医療費支給費負担金	
		90704	審査支払手数料	
		90705	返還金	
		90706	還付金	
		90707	一般会計返還金	
		90708	予備費	

【重要性】
高齢者等に対し医療の給付を行い、高齢者の保健の向上と福祉の推進に大きな役割を果たしている。

【現状分析】
広報等による制度の周知及び高額医療費支給該当者への再通知等により支給率を向上させる。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
高額医療費支給率			100	100	100	100	100
(%)			84.65	88.8	93.1	94.2	94.3
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	3 受療環境を整備する
【基本事務事業】	907 老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4811000
【事務事業】	90701 老人保健事業特別会計繰出金	健康福祉本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】 高齢者の増加等に伴う医療費の増大に対応するため、一般会計から財源を繰出すことにより、老人保健事業の適正かつ円滑な運営を図る。	【指標】 受診率(月別平均受診回数)(%)	【指標概要】 年間総受給者数÷12月(年間1人月1回受診すると1200%)年間入院+年間入院外+年間歯科=年間総受給者数	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			1749.4	1812.4	0	0	0	計画額	1,282,450	1,448,910	1,600,000	1,963,392	1,688,461
			1749.4	1783.5	1791.2	1846.7	1799	(一般財源)	1,282,450	1,448,910	1,600,000	1,963,392	1,688,461
								予算額	1,282,450	1,448,910	1,551,403	1,687,881	1,723,045
								(一般財源)	1,282,450	1,448,910	1,551,403	1,687,881	1,723,045
								決算額	1,646,626	1,638,686	1,837,294	1,968,291	1,998,733
								職員数	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】
老人医療の受給対象者

()			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
高齢者医療費の増大に伴い、市の負担額も増加している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
老人保健事業特別会計を運営するため、必要とする経費を繰り出したもの。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90702	医療給付費負担金	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
老人医療費を支払基金・国・県・市からの負担金等で運営し医療サービスを提供する。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	23,093,600	23,509,600	21,201,637	21,247,186	22,154,502
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4	4	4	4	4
								予算額	23,093,600	23,509,600	22,855,000	22,878,000	22,200,000
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	4	4	4	4	4
			0	0	0	0	0	決算額	23,053,893	22,999,159	23,134,873	22,150,695	21,770,849
			0	0	0	0	0	職員数	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
老人医療受給対象者			0	0	0	0	0						
								【指標値】	上段：予算目標	下段：実績			
								【定量分析】：課題・現状分析					
								老人保健医療費(現物)の適正な給付ができた。					
								【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。					

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90703	医療費支給費負担金	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
老人医療費を支払基金・国・県・市からの負担金等で運営し医療サービスを提供する。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	653,130	685,000	626,467	627,814	654,622
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	653,130	685,000	596,000	640,000	738,000
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	599,926	585,254	631,755	642,151	668,195
			0	0	0	0	0	職員数	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
								単位) 事業費：千円 職員数：人					
【対象】	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
老人医療受給対象者			0	0	0	0	0						
								【指標値】	上段：予算目標	下段：実績			
								【定量分析】：課題・現状分析					
								老人保健医療費(現金)の適正な給付ができた。					
								【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90704	審査支払手数料	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保険医療機関からの診療報酬請求について、内容審査し医療費の適正化を図る。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	108,794	108,355	114,144	114,144	114,144
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	108,794	108,355	107,587	104,005	95,956
(0)			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	105,892	105,236	102,043	98,303	95,690
			0	0	0	0	0	職員数	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】 老人医療受給対象者	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。					
【定量分析】: 課題・現状分析 老人保健医療給付事務を適正に審査できた。													

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90705	返還金	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
支払基金・国・県への負担金等の償還	(0)		0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1	1
(0)			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	決算額	52,304	6,042	23,241	49,779	105,312
			0	0	0	0	0	職員数	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。					
【定量分析】: 課題・現状分析 支払基金・国・県の負担金の超過分を精算行為に基づき返還する。													

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90706	還付金	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
不正利得や第三者納付金等の過誤徴収分を還付する。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	予算額	1	1	1	1	1
(0)			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.3	0.35	0.35	0.35	0.35
(0)			0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
【対象】	老人医療受給対象者												
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
不正利得や第三者納付金等の過誤徴収分を還付する。						平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。							

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100									
【事務事業】	90707	一般会計返還金	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
老人医療費を支払基金・国・県・市からの負担金等で運営し医療サービスを提供する。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	333,431	351,010	250,000	250,000	250,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	333,431	351,010	225,538	246,372	307,624
(0)			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	367,140	374,778	221,445	250,913	330,636
			0	0	0	0	0	職員数	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
(0)			0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
【対象】	老人医療受給対象者												
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
市負担額の超過分を老人保健特別会計と一般会計との精算行為に基づき返還する。						平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務をおこなう。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する
【基本事務事業】	907	老人保健事業を適正に運営する	担当課:	4823100	
【事務事業】	90708	予備費	保険課・広域保険担当室	会計区分	老人保健 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
老人保健事業を安定して運営するための財源確保。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
			0	0	0	0	0	(一般財源)	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.35	0.4	0.4	0.4	0.4
							単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】 老人医療受給対象者	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

不測の事態(医療費の急激な増加)に備えて予備費を計上しておく。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したため、今後2年間の清算事務を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 受療環境を整備する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	908 医療費を助成する	【基本計画区分】	203【担当課】 4811000 健康福祉本部企画管理室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
受療環境を整備し、経済的な理由で受診できない人を減らし、治癒・回復を高める。	少子高齢化を迎え高齢者の医療費抑制が国の大きな課題となっている。平成18年度の医療制度改革は「医療の地方分権」とも称され医療費抑制に都道府県の責任と役割が課された。平成20年度から新高齢者保険制度の導入が予定され、地域ごとに保険料がきまる。	90801	老人医療関係事業	乳幼児医療費助成については、平成20年10月実施予定の千葉県の制度改正に伴い、松戸市の制度内容をどのように見直すか、財源等のシミュレーションとともに職員の体制についての確に対応する。長寿保険制度への移行を確実に実施していく。
		90802	高齢者医療費助成事業	
		90803	障害者医療費助成事業	
		90804	乳幼児医療費助成事業	
		90805	ひとり親家庭医療費等助成事業	
		90806	障害者自立支援医療費給付事業	
	【今後の課題】			
	・所得制限の適正化・給付の見直し・新高齢者保険制度の導入			

【重要性】
医療費の一部を助成することにより、その健康の保持及び経済的負担の軽減を図り、もって福祉の向上に寄与する。

【現状分析】
少子高齢化により受給者の増が見込まれる

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
受給者			39341	37873	37873	37873	37873
(人)			39341	37873	64838	0	0
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	09 治癒・回復率を高める	【施策】	3 受療環境を整備する
【基本事務事業】	908 医療費を助成する	担当課:	4823100
【事務事業】	90801 老人医療関係事業	保険課・広域保険担当室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
適格な受給資格(負担割合等)付与による公平な負担適正かつ迅速な給付老人保健事業を適正かつ円滑な運営	高額医療費支給率()	高額医療費支給件数÷該当件数	0	0	0	0	0	計画額	64,708	71,128	71,555	76,246	99,400	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	60,502	65,672	65,131	76,100	99,100	
	()			100	100	100	100	100	予算額	64,708	71,128	67,354	67,894	67,334
				84.65	88.8	94.4	95.6	96.3	(一般財源)	60,502	65,672	60,930	67,748	67,188
	()								決算額	62,069	60,993	60,163	63,434	57,843
									職員数	0.85	1.25	1.25	1.25	1.25

【対象】
老人医療受給対象者

【業務】	単位) 事業費: 千円 職員数: 人
【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
老人保健事業(医療関係)の適正かつ公正な事務及び予算の執行を行う。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
平成20年4月より新制度(後期高齢者医療制度)に移行したことにより、今後2年間清算事務を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治療・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する
【基本事務事業】	908	医療費を助成する	担当課:	4831100	
【事務事業】	90804	乳幼児医療費助成事業	児童福祉課・児童給付担当室	会計区分	一般会計
				計画区分	計画事業
					203 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
乳幼児の保護者の経済的負担の軽減を図る。	支給件数(件)	理由:医療受診機会の確保取得先:決算資料	270000	270000	270000	270000	270000	計画額	641,778	529,306	530,432	518,426	548,022
			313956	271501	278220	277613	336626	(一般財源)	399,067	353,467	352,139	331,488	339,703
	登録乳幼児数()	理由:対象者の受給券所持率向上のため取得先:決算資料	0	0	0	0	0	予算額	641,778	529,306	518,432	549,936	678,335
			26656	26806	26491	29987	30274	(一般財源)	399,067	353,467	335,494	354,593	437,144
【対象】 0歳から就学前までの乳幼児の保護者	()		0	0	0	0	0	決算額	560,692	510,586	523,987	549,936	678,335
			0	0	0	0	0	職員数	2	3	2.9	1.9	2
								【業務】					
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
								【指標値】上段:予算目標 下段:実績					

【定量分析】:課題・現状分析

平成15年4月県下現物給付化に伴い所得制限を撤廃、平成19年10月より通院を就学前までに拡大(市単独事業)県補助は3歳児まで。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性

医療費助成制度を国の制度としてほしい(市によって助成が違う為)

【計画事業】

【計画事業名】028乳幼児医療費助成事業

【節項コード】 203 【節名】豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】日常生活および緊急時の安全・安心性の向上

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	制度変更 現物給付の開始	制度の周知 受給率の向上	制度の周知 受給率の向上	制度の周知 受給率の向上	制度変更 受給率の向上
実績	制度変更 現物給付の開始受給率の向上 96.49%	制度の周知 広報紙及びHP掲載受給率の向上 98.66%	制度の周知 広報紙及びHP掲載受給率の向上 99.34%	制度の周知 広報紙及びHP掲載受給率の向上 117.47%	制度変更 広報紙及びHP掲載受給率の向上 120.45%

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	908	医療費を助成する	担当課:	4831100									
【事務事業】	90805	ひとり親家庭医療費等助成事業	児童福祉課・児童給付担当室	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					203								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
ひとり親家庭の経済的負担軽減を図る。	支給件数(件)	理由:医療受診機会の確保取得先:決算資料	21352	26968	25600	25900	26200	計画額	71,599	83,884	67,535	62,495	62,148
			24677	26649	24690	18702	21360	(一般財源)	46,945	54,444	42,881	34,926	34,418
								予算額	71,599	83,884	70,331	61,815	52,968
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	46,945	54,444	44,406	35,113	27,400
			0	0	0	0	0	決算額	76,459	80,757	73,716	52,443	52,968
			0	0	0	0	0	職員数	1.5	1.5	0.9	0.7	0.8
								単位) 事業費:千円	職員数:人				
【対象】									【業務】				
ひとり親家庭の親子			0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						
									【指標値】上段:予算目標 下段:実績				
									【定量分析】:課題・現状分析				
									ひとり親家庭の増加傾向は続き、金銭給付以外にも自立につながる事業の多様化が必要となる。				
									【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性				
									申請者への返送書類が多いため、更なる周知を図りたい				

【政策】	09	治癒・回復率を高める	【施策】	3	受療環境を整備する								
【基本事務事業】	908	医療費を助成する	担当課:	4833000									
【事務事業】	90806	障害者自立支援医療費給付事業	障害福祉課	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
					203								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
障害者とその障害の程度を軽くしたり、取り除いたり、障害の進行を防いで職業上及び日常生活の便宜を増すために必要な費用を給付し、障害者及びその扶養者の経済的負担を軽減する。	自立支援医療対象者(件数)		0	0	0	310	229	計画額	0	0	0	27,864	514,420
			0	0	0	310	229	(一般財源)	0	0	0	11,480	128,680
								予算額	0	0	0	0	514,420
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	128,680
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	27,864	404,367
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	1.56
								単位) 事業費:千円	職員数:人				
【対象】									【業務】 障害者自立支援医療費				
障害者			0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						
									【指標値】上段:予算目標 下段:実績				
									【定量分析】:課題・現状分析				
									制度のさらなる周知及び申請手続きの簡素化の検討が必要。				
									【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性				
									制度のさらなる周知及び申請手続きの簡素化の検討が必要。				